

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 農業技術センター・北相地区事務所
要望問題名 相模原市の気候を生かした野菜の機能性成分等を強化した栽培法と品質評価について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 相模原市は神奈川県内では冬季の寒さが厳しく、夏季は日中時間帯が暑く、夜間時間帯が温度低下が著しいという気象的な特性がある。こうした条件下では野菜の生産性の低下原因となる場合もあるが、逆にこうした環境のストレスによって、野菜の機能性成分等（糖度、抗酸化力の増大、硝酸イオン濃度の低下等）を増強して、販売の有利性を確保することが考えられる（参考文献：「農業」平成30年5月、No.1638、p6-25）。 そこで、当管内において 気候条件を生かされると考えられる作目（冬季のハウレンソウやネギ類など）において、安定的な栽培法を確保しつつ、機能性成分等を向上させた商品を育成するため、北相地区事務所研究課と本所生産環境部・品質機能研究課と連携して、栽培法の確立と品質評価をお願いしたい。これにより、医食農同源の食材活用の推進や地理的表示（GI）保護制度の活用も将来的に視野に入れていきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 本所では気候的な特徴が異なることから、農業技術センター北相地区事務所研究課と農業技術センター生産環境部・品質機能研究課での対応をご検討いただきたい。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所研究課 生産環境研究部品質機能研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) かながわ特産品の有利販売を推進する技術開発 県産農産物の機能性成分等の品質特性の解明 新たなかながわ特産品の開発 新たな作物・品種の検索による特産品の開発			
対応の内容等 ネギについては、地域で栽培されている品種・系統を含むネギを栽培し、収穫時期ごとの収量、外観品質、含有成分を調査する。 ハウレンソウについては、冬季に寒気を用いて糖度を上げる作型については、過去に当所試験事例があり、岩手県盛岡市で46品種を用いて行われた最近の研究事例でも、寒締め栽培によるクロロフィル、ビタミンC及び糖度の上昇が示されている（園学雑2018,17(2)199-210）。これらの情報を参考に、当県北相地域で有望な栽培を実施し、収量、品質を調査する。ネギ、ハウレンソウともに北相での試験により特性が示唆されたものについては、平塚本所での栽培との比較も検討する。栽培方法の比較検討は北相地区事務所実施し、品質特性の解明は生産環境研究部で実施する。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			